ア 説リシ

r

頗

ル参考

1

資ト

ナル典籍デアル

漳州府志」ニ

此

シ

テ更ニ俗ナラズ」英ト記シテアル

素心蠟梅ヲ荷花蠟梅ト

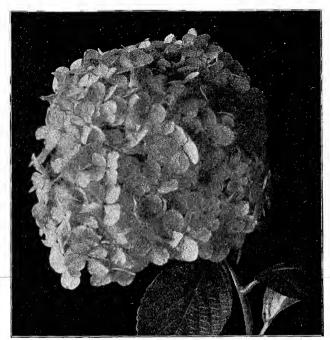
云ッ

丰

テ

形チ荷花ノ

如シ各種皆紅心アリ惟此種ハ之レ無ク色純黄ニ



あ ち き ゐ (Hydrangea macrophylla DC. subsp. typica Makino var. Otaksa Makino.)

## Cあぢさゐハ日本出ノ花

ヲあぢさ あぢさる(昔 おト 此 特ニ之レニ 我日本デ出來タ花 ŀ シサウ考 充テ 杜 デ ハ支那カラ來 'n ヲ あぢさる ス かきつ 方 B テ jν ヲ やぶめら 丰 デ ŀ 紫陽 カラ 繡 類デ其妄斷誠 Œ テ ス あづさねトモ云ッタ)ハ Ú 鵠 毬 ヰ jν 花 同 固 た 潭州府志』 得 如夕大サ七八寸 ノヤ ŀ ヤ タ 牧 漢名 支那 非 Æ ゥ テ 馬鈴薯ヲじ 野 、ハ天麻 ウデアル 欅ヲ 丰 デ 是 ア ` = ナ ガ 笑フ 元テ Ź P 富 無 裏 ゥ 掛 實二 太 瑪 日 ベ = が 哩 思 或 本 キ r たら ょ 通 蓋 郞 力 力 Æ ッ テ 丁 瑪 ヲ 力 IJ ラ **≥** V デ あい度加



あぢさね (Hydrangea macrophylla DC subsp. typica Makino var. Otaksa Makino.) (東京帝室博物館ノ庭ニテ撮影)

ぢ Ž あ 日 本 出 , 花

あ 考 一見殆 同 之 毬 華 Æ ださ ガ デ 族 者 粉 數 二 同 ·V ) 開 Hydrangea 觸 恐 쥙 ジ ヲ デ 團 如 如 ケ ナ 見 信 ラ 我 酷 ŋ キ ン ン + ŀ ヲ 似品 **F**\* ŋ ィ 者ア タ ガ 者 ズ ۲ jν 異 經 色 Hydrangea hortensis Ĺ\_ 文漢 記 あ 事 べ 看 呼 尙 青 r ナ テ ぢ 分 ン 事 誰 デ ガ IJ jν 謝 1) 7 ŀ hortensis. È ア 判 理 デ 無 數 ケ ガ 註 セ デ 難 ヰ ナ ゐ IJ カ 樹 由 ナ ザ ₹⁄ 日 **₹** jν 姉 ィ 1 モ ハ jν jν w テ 其樹 其 有 姿 者 ガ ヤ 妹 中 = 初 **≥** ア 往 品 其 ヲ ゥ ソ ŀ × P テ ıν ヲ 모 デ 狀 開 V V **≥**⁄ 恠 jν 淡 洋 7 出 八 テ上ノ『 3/ ハ 陸 7 ガ 紅 頷 叉 綉 多 葉狀 仙 ヲ洋繍球ト テ -JV タ 離 ャ 但 叉 1866球ト 徑 花 緑色 小 卉 如 顏 數 逈 路 力 小 尙 jν ٧. 力 7 色 日 漳州 我ガが、 シ、 ラ推 淡 我 年 旣 ガ が = = 減 = 此 5 邦 就 = 羣 ナ = ズ 3/ 府志員 1872 支那 想 品 デ シテアリ 芳 = テ jν **≥**⁄ w テ < 何 豣 3 Ξ テ ハ コ 轉 1 其系 年 種 異 大 究 テ蓋シが あぢさる デ 3 ン ŀ ジ 花 出 ŀ 7 = 青 シ ナ = テ 曆 放ラ あぢさる 此 同 版 統 ナ タ IJ 蓮 卉 藍 古詠 人 洋 國 全 ク優美ナ = 洵 本 1 ζ デ ナ ケ クあぢさ ٠, 如 = ŀ 兩 他 恐ラ あぢ 出 爲ス 閩 ッ キ N 雨 類 版 ガ 書 邦 南 者 白 タ 後 「*ク*シ 7 ŋ 3 デ ヲ アリ 文漠 ₹ ナ 品 文中. 意 ね ナ ね 琪 ッ rŀ ッ テ脂 テ jν 樹海 兩色 ŀ デ ィ ヲ 味 Lobscheid 天 7 ・ガ 人 親 タ デ 違 = **≥**⁄ 色 ŋ 家 ッ 通 7 我 見 タ 外 平 ŀ 1 モ 如ク碧 テ 1 \_ ラ ₹/ ヵ゛ ュ 分シ 如 DOOLITTLE 野 あ 栽 ゥ、 あ 瑤 ノデ是 テ jν キ 一葩ナリ ぢ 植 生 ぢ 支那 テ合璧 生 氏 者 È Ė ソ 曆 1 セ V ŋ r ノ『英華 或 ラ タ る **≥**⁄ 百 る シ IJ デ見 粉 近 テ 詠 w ŀ v テ モ ŀ 1 氏 黛 밆 外 テ 何 專 如 朶 ハ 觀 ヲ 别 テモあぢさゐガ支那 デ U 力 ク 開 字典』ニ 天 ラ ŋ 武 五. 1 繡 ハ 如 テ 麻 私 書 者 毬 色 生 頗 ナ 彛 月 理 諸 相艷 jν 1 デ 物 モ ハ 餘 掛 之 亦 出 能 力 7 ハあぢさ 間 ナ 名 あ 汐 刀 V Æ ŀ jν 峰 下 カ ヲ 想 モ 類 ッ IJ 像 私 È Z 向 テ ŀ デ め 其 ね 繡 黄 ス 花 = 或

が < あ おおさ チ 扁 Ė 額 5 る モ 事 モ 亦 稱 H デ 其  $\sim$ 本 ラ V 出 ハ V 其繖 叉が 種 デ 房狀ヲ成 ば 普 な 通 ŀ = セ モ ハ 云 人 jν 花 家 ハ 穗 V = 栽 面 テ ヲ 丰 植 額 w 3/ 1 テ = 叉 7 タ 略 ŀ V サ ١, 其 モ V 周 テ 亦 單 邊 房 州 が 蝶 邊 形 ŀ ハ ヲ モ 海 額 膟 = バ 近 jν キ ŀ 見 地 ` 做 事 = **≥**⁄ 野 ガ 中 7 生 .jv **≥** 花 テ ヲ 此 丰 額 が jν

面

jν

ŀ

キ

ヲ

ッ

テ

丰

ıν

チ

ラ

テ

7

とちばにんじんニ改ヌ其以後

其

V

=

從ファ今日ニ及ンデキ

jν

とちはらにんじんハとちノ木ノ下

平

男

ラ タ モ デ ア jν 前 田 曙山 君 著 園 藝文庫』 Ė 之 レ ヲ 蘴 ŀ **୬**⁄ テ r ッ タ ガ 其 V ハ 額 デ ア ラ ネ バ ナ ラ ヌ

## 枝 片 葉 (其五十八)

牧 野 富 太 鄎

思 ときはぎょ つめガ元 フ出ス 在 テなつめ 丰 な フ ク 其名 ガ つめ テ įν 巖 通 デ 何 事 こぎ科 ٠<u>٠</u>٠ 說 Æ ニときは デ其なつめヲなつんめト伸バシテ呼ブヤ ŋ. 飯沼慾齋著 Ì 人人家 事 デ ガ 3 ナ ラ 亦なつ 他 r **≥**⁄ デ 稱アリ バコ テ jν デ見ラ 叉常盤 ア 樹木 卉 宿根草本 フ 康 語 んめ(即チなつうめノ意)ノ名ノ 下總ノ佐倉邊デハ之レヲなつんめ 力 なつめ ノ「草木圖説 w 熙字典』ヲ見ル ラ常磐ト 事 = デ ヲ ト 記 予普 ネク 比 モ 冠 jν デ彼 ブ = 3 **シ** 棗デアル、 テ用 **≥**⁄ ŀ シ 餘リ其邊ヲ一 世 N ノ所謂御 ニニハ始メとちはらにんじんト 後レ夏 人ノ 衆人 中 力 卽 ネ ŀ 知 チときはがき、 7 バナラヌト 周 原 明治八年ニ 種 jν = 盤 入 通リデアル、 ネ ŀ にんじん卽チ人參ニ 概ニ ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ 支那 通ジ " 漸 知 ・ウニ う之 言っ人ガアル、 ムヅカシ jV. テ磐ニ作ル」 所 約 產 田中芳 ときはすく ナ デ デ 7 ١ v サテ此ときはハ普通ニ ッ ァ ッ 呼 ヲ r jν シ 見 ク言フニ タ w タ デ ガ 1 N Æ 往時 似タ 叉此 小 出テョリ「深山樹陰七葉樹下等ニ多ク生ズ、 丰 1 カ 盤、大石也」 3, 然シ私 デ 野職慤兩氏ガ此書ヲ新訂シテ出版シ ŀ Æ jν 卽 實ヲ薬用ト 我邦 知 ソ E Panax Shinseng var. 及ブマイ 或 謂 =  $\nu$ チ 夏梅 ナイ デ夏 三渡 ハ是 ハときは ヌ ノデ 來 ŀ ノ意 芽 V 常 ŀ ハ常 1 3/ シ今 7 意 盤 デ 通 思 jν あ Æ ナイ 常大棗・日デハヤ 盤 味 白 ŀ ij 7 力 常盤 ラ デ 書 K jν デ デ ナ な モ ガ 1 <sub>ا</sub> ۲ 此夏 r ŀ 然 邦 テ 0 ŀ japonicum Makino 內普 稱 jν 向 7 ۲ **≥**⁄ め 梅 = jν 呼 其 ŀ とちはらにんじ ス 差支 ガ 呼 jν 通 ソ Ľ, 1 v 其 方言 叉常 ブ = 1 タ時之 此 樹 反 デとき レ 植 對 ナ 物 力 ダ 樹 ŀ ラ 永 ナ オ 樹 ŀ 推 ヲ な

斷 枝 片 葉